



地域おこし隊の 思いつき日記

こんにちは！協力隊員の大竹駿二です！町の公式YouTubeチャンネルの撮影・編集・運営を担当しております。津別町にUターンして戻ってきてから、早くも2年が経とうとしています。この2年間、取材撮影を通じて「まちなか再生」による町内活性化など、町の新しい変化に気づくことができました。また、津別町を盛り上げようとするさまざまな方々との出会いもあり、とても充実した日々を過ごしています。

あと残り1年。最近では、協力隊卒業後に挑戦したい写真業（フォトウェディングや七五三などの家族写真）にも本腰を入れようと奮闘しています。町の行事や風景を撮影する中で、津別町に関わるすべての方々の大切な瞬間を形に残し、その思い出を未来へとつなげたいという思いが、ますます強くなっています。

動画と写真の二刀流を目指す

大竹 駿二 さん

津別町出身 28歳
町の映像発信や写真事業に取組中

知温故 新故

掲載候補者募集中！

いつも「温故知新」をご愛読いただきありがとうございます。
「温故知新」では長く人生を歩まれている方の人物紹介をしております。
取材が可能な方に、お心当たりがある方はお気軽に下記連絡先までご連絡ください。

電話番号：76-8374（企画係直通）
FAX：76-2976
メールアドレス：toukei@town.tsubetsu.hokkaido.jp

喜らを支える
税

町道民税の特別徴収
(給与天引き)について

町道民税の納め方は、本人が納付書または口座振替で納める普通徴収と、事業主が本人の給与から町道民税分を予め天引きしておき、代わって納める特別徴収があります(年金所得者には年金から徴収する制度もあります)。

普通徴収は1年分の税額を、4回に分けて納めます。特別徴収は1年分の税額を、12回に分けて給与から天引きします。

特別徴収の方が、1回あたりの負担額が少なく、しかも納税者の手間は全くありません。特別徴収を希望される方は、勤務先へご確認ください。

《事業主の方へのお願い》

所得税の源泉徴収義務のある事業主(給与支払者)は、従業員(納税義務者)の町道民税を特別徴収することが法律(地方税法及び町税条例)により義務づけられています。

特別徴収を開始するには、給与報告書を町に提出(毎年1月末期限)する時に、特別徴収分としてご提出ください。翌年度から特別徴収を開始します。

また、給与からの天引き額は、予め町で計算して事業主の方へ通知しますので、所得税のように、毎回計算する必要はありません。さらに11月までなら、年度途中からでも特別徴収を開始できます。特別徴収を行っていない事業主の方は、ぜひ特別徴収の導入をご検討ください。

青春 くろずあつ

伊原みづきさんは4月からJAつべつ金融共済課貯金係に配属され、主に窓口で定期預金や積立申し込み等の業務を担当しています。

美幌町出身で小学生から中学生まで陸上競技に汗を流し、800メートル競走で活躍しました。

JAつべつを志望した理由は、高校のときの職場体験がきっかけで、きれいな事務所や丁寧な指導をしてくれた職員の方にひかれ、入組を決めました。

「先輩方のように農家さんに親しまれ、頼りになる職員になりたいです」と笑顔で今後の目標を話してくれました。

休日は、ネットフリックス(動画配信サービス)で韓国ドラマを見ているそうで「マイ・デーモン」に出演しているソン・ガンさんを応援しています。



農家さんとの繋がりを大切にしたい

伊原 みづき さん

いはら みづき さん/平成17年8月生まれ/
JAつべつ勤務

熱狂！津別町の盆踊り大会

現在インターネットで公開中！ 町のHPをご覧ください



津別町の夏といえば「盆踊り大会」。津別町では、市街地、活汲地区、本岐地区の3箇所で開催されてきました。

今回はそれぞれの地区の盆踊りに密着。そこには継続のため汗をかく人々の姿が。人口減少が続く地域にとって、盆踊り大会は人と人をつなぐ大切なイベントでした。

市街地の「つべつ納涼盆踊り大会」では生演奏の盆踊りに、仮装に、かき氷早食い大会に、アメリカン盆ダンス。合宿中の大学生も参加し、会場は熱気に包まれました。

開拓のときから受け継がれてきた伝統のイベント。津別町の熱狂、盆踊り大会をお送りします。



毎月末日
ごろ更新

《取材希望企業・飲食店・生産者募集!! 詳しくは役場住民企画課まで》

問い合わせ先 住民企画課 企画係 14 番窓口 ☎ 77-8374